

段差乗り越えキャスター

取扱説明書

型名： BPT125RHKP2SF-DD9090
BPT125RHKP2SF-DD8080
BPT125RHKP2SF-DD1056

■ 安全上のご注意

取付・使用を始める前にこの説明書をよくお読みになり、販売店さまが正しく安全に取付し、取付終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。
お客様は本取扱説明書をお読みになった後も大切に保管してください。

※ご注意とお願い

- ・樹脂の取付け座面には必ず平座金を用い、バネ座金などのゆるみ止めを施してください。
- ・取り付けボルトはM10を推奨します。ボルト長さはめねじ（ナット）から最低5mm以上出る長さを選択してください。



■ 取付上のご注意

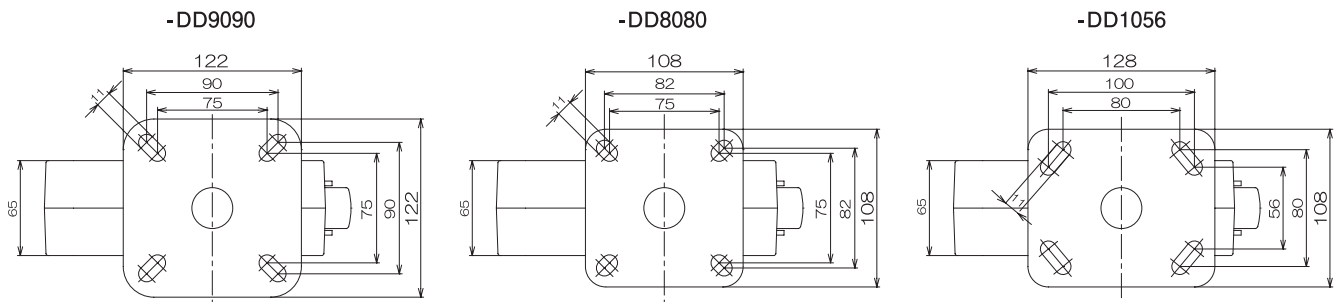
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	許容荷重を超える搬送機器への取り付けをしないでください。（キャスター、台車の破壊の原因） 可動部分へ手や指を入れないでください。（挟まれて怪我をする原因）
	キャスターの取り付けは使用搬送重量に耐える搬送機器に取り付けてください。（搬送機器の破壊の原因） キャスターの取付は取扱説明書にしたがって行ってください。（キャスター破壊の原因）

- ・本製品は手押し台車用途として製造されており設備搬送用台車、無人搬送機などへの使用を想定した設計はされておりません。

■ 使用上のご注意

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	許容荷重を超える荷物の搬送をしないでください。（キャスター、台車の破壊の原因） 可動部分へ手や指を入れないでください。（挟まれて怪我をする原因） 可動部分へ金属などの硬いものを入れないでください。（キャスター破壊の原因） 許容高さ(4cm)より高い段差への走行はしないでください。（キャスター破壊又は荷崩れによる事故の原因）
	使用前に旋回部、可動部が異常なく動くことを確認してください。（キャスター破壊、動作不良による事故の原因）

■ 取付寸法図 BPT125RHKP2SF



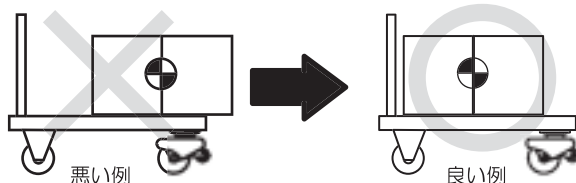
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
 禁 止	金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。（傷、腐食の原因） ガソリン、ベンジンなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。（破損、変色の原因） 分解しないでください。（破損、動作不良の原因）	 必ず守る	キャスターには寿命があります。車輪の欠け、磨耗、旋回部の回転不良、段差乗り越え機構部の動作不良、異音などが発生した場合は早めの交換をしてください。（キャスター破損、台車の転倒による積荷の倒壊、破損の原因） 長くお使いいただくために取扱説明書に記載のお手入れを行ってください。

■ 快適にお使いいただくために よりよい状態でお使いいただけるよう、以下のことにご注意ください。

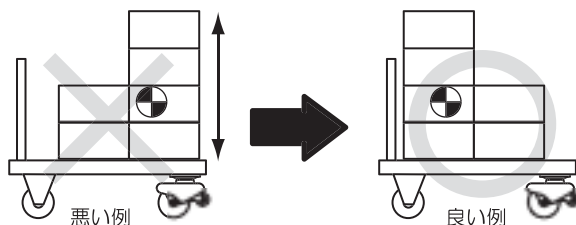
※ご注意とお願い

4cmを越える段差は乗り越えることはできません。無理に乗り越えようとするとキャスターの破壊または荷物の落下の原因になります。

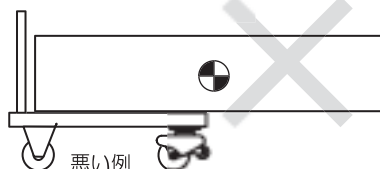
荷物の中心はできるだけ手前側になるように積んでください。
前寄りに積むと段差乗り越え性能の低下や荷物の転倒の原因になります。



荷物は高く積みすぎないでください。
また前後の荷物に高さの差ができる場合は手前側が高くなるように積んでください。段差乗り越え性能の低下や荷物の転倒の原因になります。



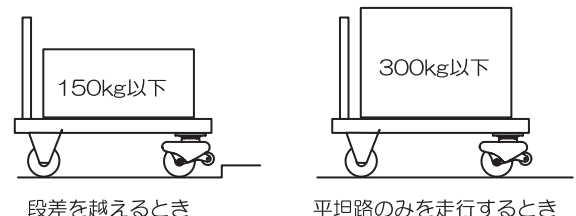
荷物は前方へはみ出さないように載せてください。段差を乗り越えがでず荷物の落下の原因になります。



右図のような突起や段差には段差乗り越え機構の効果はありません。
従来のキャスターと同じ乗り越え性能になります。

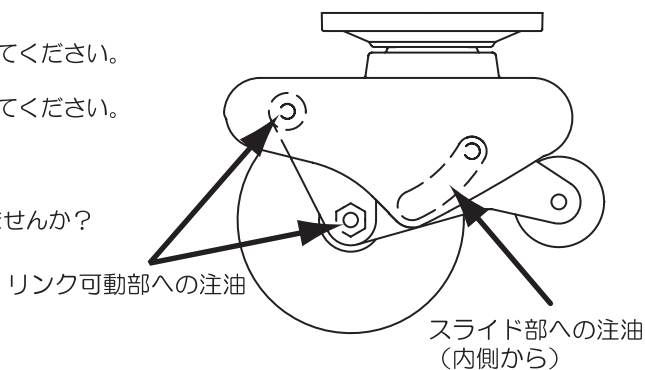


段差（最大高さ4cm）を超える場合の積載荷重は150kg以下にしてください。
150kgを越えて段差を越えようとすると荷物の落下やキャスターの破損の原因になります。



■ お手入れ方法 長く使っていただくために以下のお手入れとチェックをお願いします。

- ・ 表面の汚れは乾いた布で乾拭きしてください。
- ・ 落ちにくい汚れや油汚れは柔らかいブラシなどで取り除いてください。
- ・ 汚れを落とした後は右図を参考に機械用グリースを注油してください。
- ・ 日常点検
 - 車輪に欠け、大きな亀裂/傷はありませんか？
 - 取り付け部（樹脂プレート）に割れなどの異常はありませんか？
 - 走行中、異音が発生していませんか？
 - 補助輪の垂れ下がりはありませんか？
 - 可動部はスムーズに動いていますか？
 - 本体に割れやゆがみはありませんか？



上記の箇所に鉱物油または合成油の市販グリースを注油してください。
注油には、グリースガンまたはスプレーグリースをお使いください。

ご使用中に異常が生じたときは、事故防止のため使用を中止し、購入された販売店に修理のご依頼または取替え用キャスターをお買い求めください。